

<目次>

付知での取組のロゴ

- 議事**
1. 社会実験のふりかえり
 - 1) 実証概要 . . . P.3
 - 2) これまでの取組 . . . P.5~8
 2. 令和7年度 実証運行の結果
 - 1) 付知駆けつけバス 実証概要 . . . P.10~11
 - 2) 付知駆けつけバス 実証結果 . . . P.13~18
 - 3) 自動運転 実証概要 . . . P.20~21
 - 4) 自動運転 実証結果 . . . P.23
- 報告**
1. 令和8年度事業計画（案）について
 - 1) 付知駆けつけバス . . . P.25~28
 - 2) 自動運転 . . . P.30
 - 3) まとめ . . . P.32

<目次>

議事	1. 社会実験のふりかえり
	1) 実証概要 . . . P.3
	2) これまでの取組 . . . P.5~8
	2. 令和7年度 実証運行の結果
	1) 付知駆けつけバス 実証概要 . . . P.10~11
	2) 付知駆けつけバス 実証結果 . . . P.13~18
	3) 自動運転 実証概要 . . . P.20~21
	4) 自動運転 実証結果 . . . P.23
報告	1. 令和8年度事業計画（案）について
	1) 付知駆けつけバス . . . P.25~28
	2) 自動運転 . . . P.30
	3) まとめ . . . P.32

1. 社会実験のふりかえり 1) 実証概要

- 令和3年度に内閣府「未来技術社会実装事業」に採択され、付知町地区をモデルに取組を進めている。

▼「超高速交通網との接続にむけた自動運転ネットワークの導入と地域拠点整備による新たな人の流れ創出事業」の概要

■ 事業のセールスポイント

- 自動運転技術の導入と新たな交通・交流拠点の創出により、リニア岐阜県駅が出来るメリットと高速道路も含めた広域交通の整備効果を、中心部から離れた地域にも波及させるとともに、地域の拠点性の向上を図る。※本事業では1地域(付知町地区)をモデルに検討。
⇒実装により、住民の生活利便性維持、観光客等の地域内への誘導、就業者の受け入れ促進に寄与する。

位置図

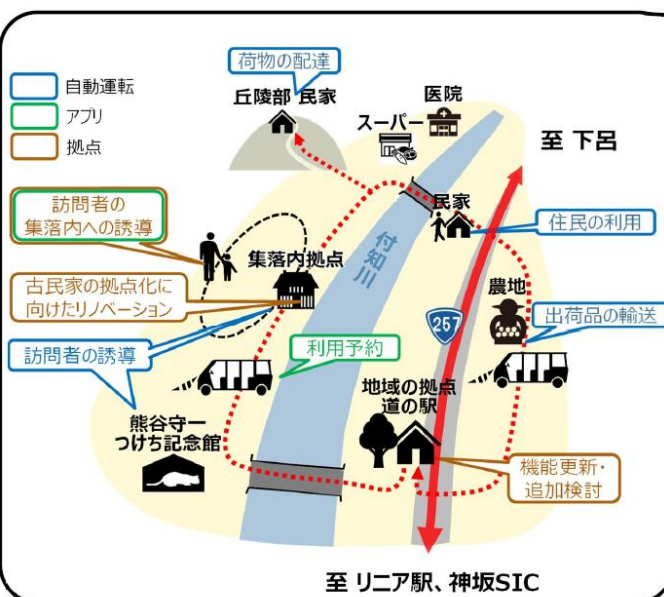


■ 関連事業全体の概要

中津川市の付知町地区をモデルとして、

- ①自動運転技術の導入・運営
- ②自動運転予約アプリ開発
- ③拠点創出・運営

の検討、実装を行う。



▲付知町地区での技術実装イメージ



▲将来的な自動運転ネットワークイメージ
(付知町地区を対象とした場合)

■ 対象区域の概要

中津川市

面積: 676km² (73km²)

人口: 7.9万人 (0.6万人)

※()は、本事業でモデルとして検討する付知町地区

■ 対象区域のビジョン

- ①リニア等広域交通の整備効果を市内全域へ波及
- ②多拠点ネットワークによる集約型都市構造

<目次>

議事 1. 社会実験のふりかえり

1) 実証概要 . . . P.3

2) これまでの取組 . . . P.5~8

2. 令和7年度 実証運行の結果

1) 付知駆けつけバス 実証概要 . . . P.10~11

2) 付知駆けつけバス 実証結果 . . . P.13~18

3) 自動運転 実証概要 . . . P.20~21

4) 自動運転 実証結果 . . . P.23

報告 1. 令和8年度事業計画（案）について

1) 付知駆けつけバス . . . P.25~28

2) 自動運転 . . . P.30

3) まとめ . . . P.32

1. 社会実験のふりかえり 2) これまでの取組

①自動運転技術の導入・運営、②自動運転予約アプリの開発【自動運転】

取組内容

➤ 自動運転技術の社会実装を見据えた人・物の輸送社会実験（2021年12月9日～12月15日）

- 東京大学と連携し、自動運転技術が導入された未来社会での潜在的な需要を把握するため、様々な移動手段の活用方法について社会実験を実施
- 人・物の輸送実証実験の特徴
 - 1台の車両を自動運転車両に見立てて、時間帯に応じて3種類の活用を試行

【実験1】地区内 人・物どこでも輸送

- 地区内を、タクシーのように予約に応じて車両を走らせ、人だけでなく、荷物のみも輸送
- 予約するためのWebアプリを実装

古材を再利用
したバス停▶
(歴史を紹介した地図
パネルや古写真



【実験2】巡回便

- 地区内を定時、定路線で運行
- 巡回中に、実験3で用いる商品の集荷も行い、貨客混載で運行
- 実験用にバス停を設置。地域文化を活かしたデザインを採用

【実験3】移動販売

- 昼間の時間帯に、お弁当等を移動販売

- 実験期間の1週間で、89名の人と、16セットの荷物を輸送
- 移動販売は3日間実施し、271点の商品を販売
- 需要把握のため、地区内全戸配布でのアンケート調査等を実施

▼予約アプリ画面

人・物どこでも輸送の予約
予約可能な時間(休日と明日の便を予約できます)

選択してください

氏名

付知 太郎

電話番号(ハイフンなし)

固定電話の場合は、市外局番からご入力ください

出発地

選択してください

目的地

選択してください

※出発地・目的地は運行サービス区域内としてください

参考マップを開く

人・物の輸送

選択してください

※乗車は最大5名まで・荷物は降ボール3箱まで

登録する

実験期間(12月9日～15日)以外予約は無効です

付知 bin
Tsukeychi Bin

▼買い物での利用



▼道の駅への農産物の出荷で利用



▼移動販売の様子



③ 拠点の創出・運営【自動運転、VR/AR】

取組内容

➤ えーに付知！ 付知地域デザインミュージアム開設

モビリティサービス「付知bin」の社会実験（2022年10月15日、16日）

- 東京大学と連携し、明治8年創業の割烹料理上見屋の建物をリノベーションし、新たな地域の拠点として自動運転車両の停留所を設けた施設を開設し向かいの駐車場を広場（辻広場）として整備した。地域拠点を活用した様々な移動手段の活用方法について社会実験を実施

- 【実験1】シャトルバス運行(利用者：157人)
 - 付知地域デザインミュージアムと道の駅の間（熊谷守一つけち記念館経由）の運行
 - 15分間隔で運行

【実験2】デマンド型バス運行(利用者：28人)

- 予約するためのWebアプリの実装
- 発着地点は付知地域デザインミュージアム
- 農産物、荷物等の運搬が可能な貨客混載サービス

【実験3】自動運転車両の展示会

- 辻広場で自動運転車両（Milee）の展示
- 付知地域デザインミュージアムのHP開設
イベントのお知らせや地域の店舗紹介等を掲載
<https://tted.t.u-tokyo.ac.jp>



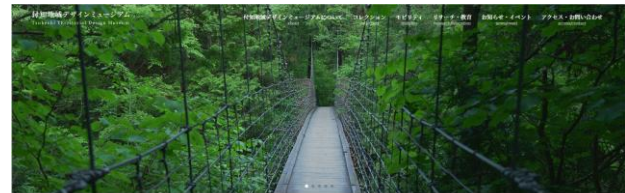
▲付知地域デザインミュージアムの内観



▲自動運転車両の展示会の様子



▲付知地域デザインミュージアムの外観



▲付知地域デザインミュージアムのHP

①自動運転技術の導入・運営、②自動運転予約アプリの開発【自動運転】

取組内容

➤ ついに付知にやってきた！自動運転バス「付知bin」実証実験（2023年10月18日～29日）

- 東京大学と連携し、付知地区内の狭小な道路、自動車と歩行者が混在する道路環境で自動運転車両を走行し、データ収集、課題の洗い出し、中山間地域での自動運転技術の導入の可能性を検証

【実験1】自動運転バス

- 道の駅花街道つけち～熊谷守一つけち記念館～付知地域デザインミュージアム～スーパーさのや間を定時定路線で運行
- 1日8便、40分間隔で運行
- 乗車予約のWebアプリの実装
- 路車協調システムによる歩行者の歩行軌跡・速度等のデータ収集
- 遠隔監視システムの導入



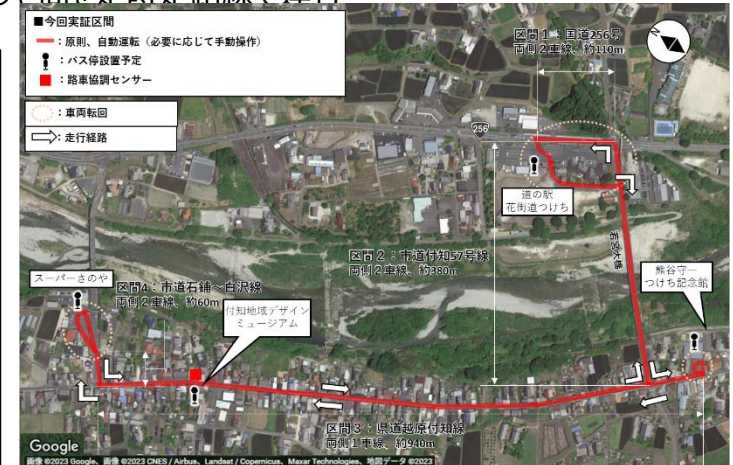
▲自動運転車両（GSM8）



▲遠隔監視室



▲予約アプリ画面



▲自動運転車両運行ルート

【実験2】どこでも運行デマンドバス（手動運転）

- ドアtoドアで好きな場所へ移動可能
- 最大3組までの乗り合いによるデマンド運行
- 乗車予約のWebアプリの実装
- 農産物の運搬が可能な貨客混載サービス



▲貨客混載サービス



▲デマンド運行範囲

①自動運転技術の導入・運営、②自動運転予約アプリの開発【自動運転】

取組内容

➤ モビリティ実証運行「付知bin」の実施（2024年10月8日～31日）

- 東京大学と連携し、付知地区の狭小な道路、自動車と歩行者が混在する道路環境で住民の理解・協力を得ながら、自動運転レベル4に向けた道路環境構築の可能性を検証

【実験1】自動運転バス

- ・道の駅花街道つけち～熊谷守一つけち記念館～付知地域デザインミュージアム間を定時定路線で運行
- ・10月23日～25日、27日、30日に一部交通規制、警備員の配置を行い、自動運転専用空間を作成
- ・実証運行HPにて、マップを用いた地域情報の発信
- ・小学校で自動運転の活用方法についての授業を実施



▲自動運転に関する授業



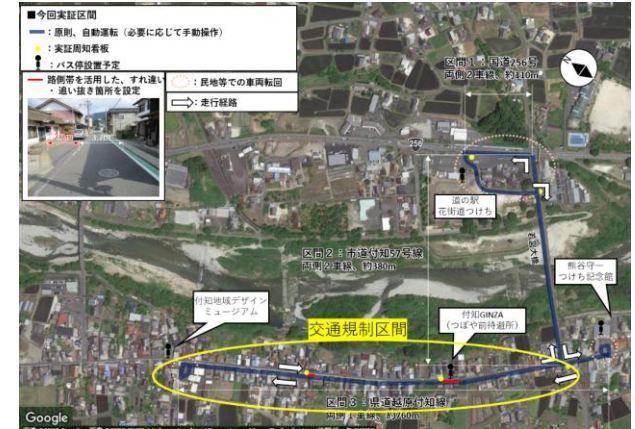
▲自動運転バス試乗会の様子

【実験2】付知駆けつけバス（手動運転）

- ・地域のコミュニティバスのバス停間で移動が可能
- ・予約に応じてデマンド運行を実施
- ・高齢者を対象に乗車予約アプリ講習会の実施
- ・移動手段の必要性、運行範囲の検証



▲予約アプリ画面



▲自動運転バス運行ルート



▲付知駆けつけバスの様子



▲予約アプリ講習会

<目次>

議事

1. 社会実験のふりかえり

1) 実証概要 . . . P.3

2) これまでの取組 . . . P.5~8

2. 令和7年度 実証運行の結果

1) 付知駆けつけバス 実証概要 . . . P.10~11

2) 付知駆けつけバス 実証結果 . . . P.13~18

3) 自動運転 実証概要 . . . P.20~21

4) 自動運転 実証結果 . . . P.23

報告

1. 令和8年度事業計画（案）について

1) 付知駆けつけバス . . . P.25~28

2) 自動運転 . . . P.30

3) まとめ . . . P.32

■ 実証の目的

検証① 利便性の向上

- 運行エリアの拡大
⇒ 昨年度は実験区域外としていた北部地区まで運行エリアを広げ、デマンド式で運行する
- 夕方便の設定
⇒ 昨年度のアンケートで複数の要望があった夕方便を設定

検証② コミュニティバスの代替となりうるか

- 従来のコミュニティバスを休止して実験
⇒ 実験期間中は、従来のコミュニティバス（定時定路線）を休止し、駆け付けバスに乗っていただく
- アンケート調査の実施
⇒ 定時定路線型のコミュニティバスと「どちらが利用しやすいか」を確認

検証③ 利用のきっかけ作りを検討

- 地元まち協や商店会との連携方法を検討
⇒ 年会費制や買い物ポイントなど利用のきっかけ作りとなる仕組みを検討

<目次>

議事

1. 社会実験のふりかえり

1) 実証概要 . . . P.3

2) これまでの取組 . . . P.5~8

2. 令和7年度 実証運行の結果

1) 付知駆けつけバス 実証概要 . . . P.10~11

2) 付知駆けつけバス 実証結果 . . . **P.13~18**

3) 自動運転 実証概要 . . . P.20~21

4) 自動運転 実証結果 . . . P.23

報告

1. 令和8年度事業計画（案）について

1) 付知駆けつけバス . . . P.25~28

2) 自動運転 . . . P.30

3) まとめ . . . P.32

2. 令和7年度 実証運行の結果

2) 付知駆けつけバス 実証結果

付知駆けつけバス運行結果（利用状況）

利用状況

- ・昨年同月と比較して、乗車人数、1 便当たり人数ともに増加している。
- ・一方で、土曜の夕方便は乗車人数ゼロ。
- ・ほぼ電話予約でありWeb 予約システムが活用されていない。（電話予約受付業務負担の増）

昨年度同月での比較

コミュニティバス (R6.10～12月)	→	付知駆けつけバス (R7.10～12月)
104便	運行便数	119便
204人	乗車人数	295人
2.0人	1 便当たり	2.5人

R7.10月～12月 乗車人数295人の内訳

便	時間	人数
1 便 (火・水・木・金)	9 時発	88人
2 便 (火・水・木・金)	1 0 時発	100人
3 便 (火・水・木・金)	1 1 時発	107人
夕方便 (土のみ)	1 8 時発	0人

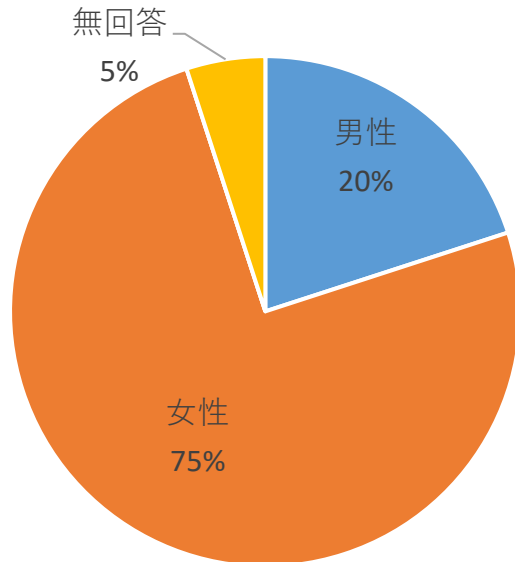
貨物輸送の結果 (R7.10月の木曜日のみ)

運行便数	5 便
輸送件数	7 件
1 便あたり	1. 4 件

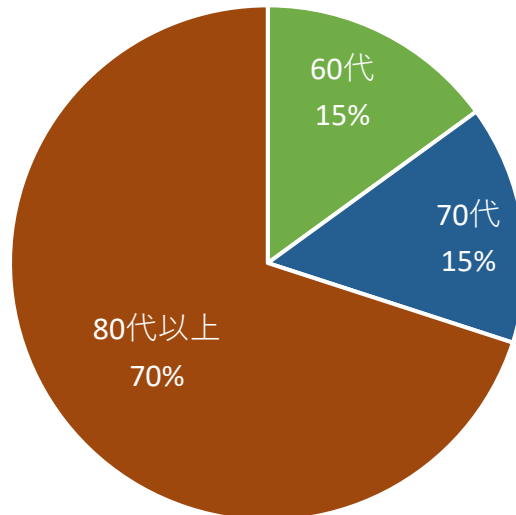
付知駆けつけバスアンケート結果

- ・アンケート回収数 20 件
- ・利用者の性別は女性が 7 割を超える
- ・利用者の年齢は 80 代以上が最も多く、高齢者の利用が中心であることがわかる
- ・利用者の約 9 割が付知町内にお住まいの方。少数ながら、市外在住者の利用（観光）もあった

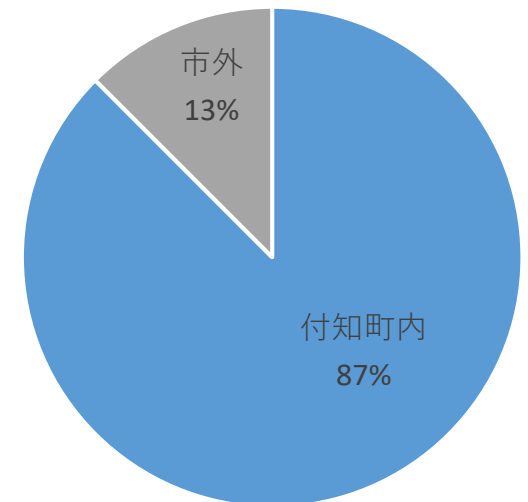
性別



年齢



住所



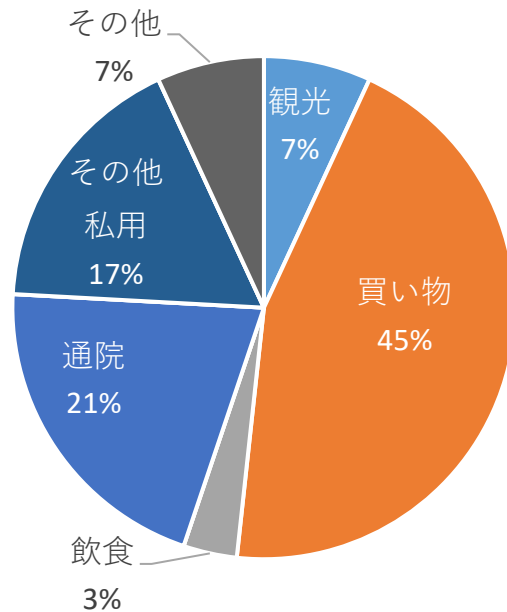
2. 令和7年度 実証運行の結果

2) 付知駆けつけバス 実証結果

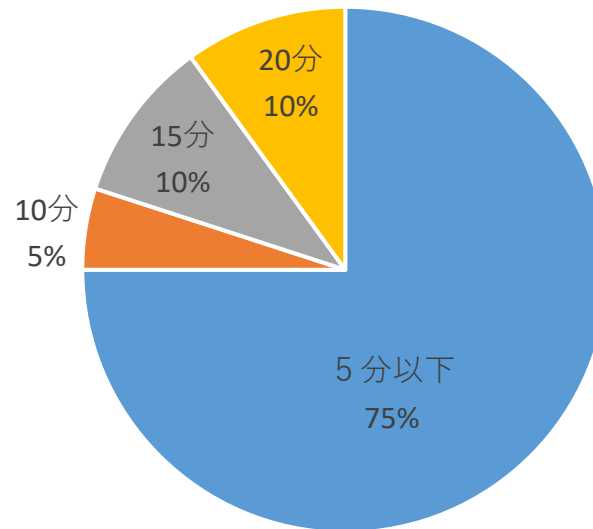
付知駆けつけバスアンケート結果

- ・コミュニティバスを休止して実施したため、コミュニティバスの利用目的と同じくほぼ買い物・通院のための利用
- ・待ち時間は概ね5分以下ではあるが、同じ便に予約が重なると最長で20分の待ち時間が生じている
- ・ほぼ電話予約でありWeb予約システムが活用されていない。利用者の中心である高齢者にとってはWeb予約システムは利用のハードルが高い

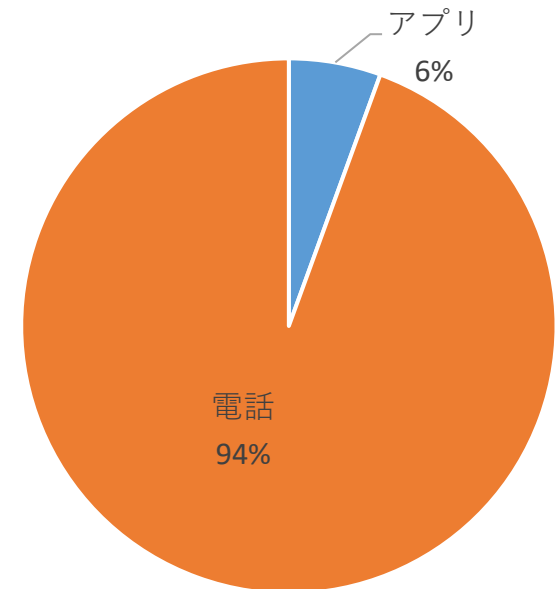
利用目的



待ち時間



予約方法

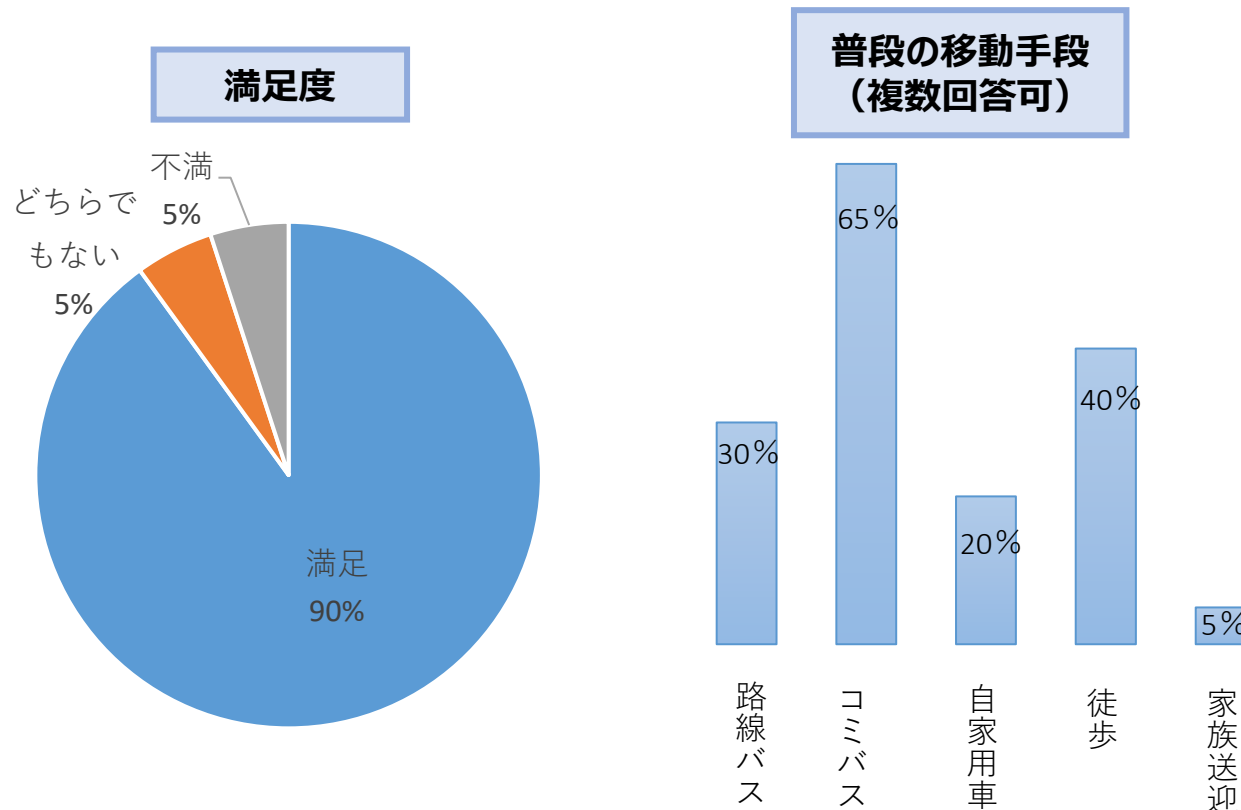


2. 令和7年度 実証運行の結果

2) 付知駆けつけバス 実証結果

付知駆けつけバスアンケート結果

- ・ 9割の利用者が「満足」と答えており、満足度は高い
- ・ 無料ということもあり、普段はコミュニティバスを利用していない人の利用も一部あった
- ・ 普段コミュニティバスを利用していない人に限定した場合の満足度は100%であり、利用促進につながった



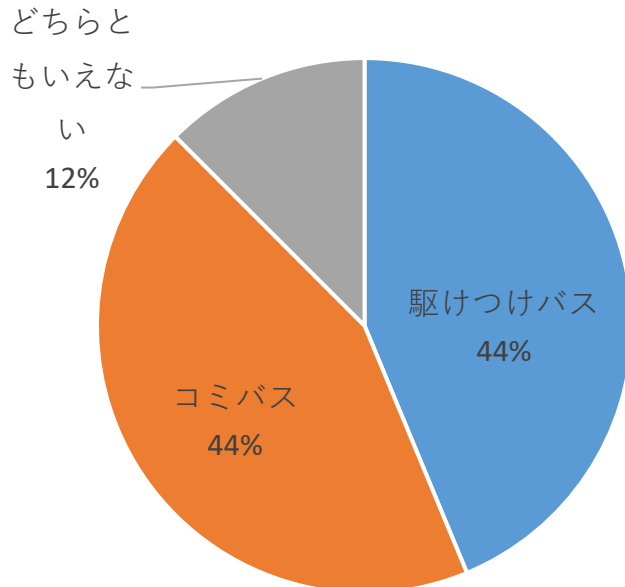
左の質問で普段の移動手段でコミバスと答えなかった人に限定した場合の満足度

100%

付知駆けつけバスアンケート結果

- ・駆けつけバス（デマンド式）と従来のコミュニティバス（定時定路線式）のどちらが利用しやすいかの問いについて意見が半分に分かれた
- ・高齢者を中心とする利用者の視点で、デマンド式の良い所・悪い所を分析し対応する必要がある

実証実験の付知駆けつけバスと
従来の定時定路線式のコミバスでは
どちらが利用しやすいと思いますか



利用者の自由意見から見てきたデマンド式の課題

- ・ 電話予約が手間で利用敬遠につながりうる
（WEB予約は利用されない）
- ・ 当日の予約状況に応じて走るため、バス停での待ち時間が発生する
- ・ 待ち時間が予約できているかの不安につながり、問い合わせ電話が多数発生
- ・ 運行事業者の電話受付業務の負担増

利用者の自由意見から見てきたデマンド式のメリット

- ・ 定時定路線式と比べて、利用のないバス停には停まらないため目的地に早く到着できる
- ・ 今まで乗車のない空のバスを見ると無駄と感じていた。

令和7年度の実証結果のまとめ

検証① 利便性の向上

- 区域を広げ、デマンド式で運行した結果、「目的地に直行できる」というメリットから、付知駆けつけバスの満足度は非常に高いものとなった。また、普段コミュニティバスを利用していない層においては、さらに高い満足度となっており、社会受容性も高い。
- 一方で、予約の手間や待ち時間の発生、予約等に伴う受付業務の負担増などデマンド式の課題も見えてきた。
- 夕方便については利用者がなく、全般的なニーズはないと考えられる。

検証② コミュニティバスの代替となりうるか

- 従来のコミュニティバスを休止して実験を行い、利用者には定時定路線とデマンド式の違いを実際に乗って比べてもらうことができた。その結果、乗車人数・1便当たり人数ともに増加し、満足度も高くコミュニティバスの代替となりうることがわかった。
- 従来の定時定路線式での運行を希望する声もあり、予約の手間や待ち時間の発生、予約等に伴う受付業務の負担増など、コミュニティバスとしての本運行に当たり、デマンド式の課題への対応が必要である。

検証③ 利用のきっかけ作りを検討

- 更なる利用促進に向けて、地元まち協や商店会との連携方法を検討した。
- デマンド式の導入のみでは、「自家用車で移動する」からの転換は難しい。付知駆けつけバスの本運行と同時に、年会費制や買い物ポイントなど利用のきっかけ作りとなる仕組みを導入する。

<目次>

議事

1. 社会実験のふりかえり

1) 実証概要 . . . P.3

2) これまでの取組 . . . P.5~8

2. 令和7年度 実証運行の結果

1) 付知駆けつけバス 実証概要 . . . P.10~11

2) 付知駆けつけバス 実証結果 . . . P.13~18

3) 自動運転 実証概要 . . . P.20~21

4) 自動運転 実証結果 . . . P.23

報告

1. 令和8年度事業計画（案）について

1) 付知駆けつけバス . . . P.25~28

2) 自動運転 . . . P.30

3) まとめ . . . P.32

2. 令和7年度 実証運行の結果 3) 自動運転 実証概要

令和7年度自動運転実証実験の概要について

- これまでの実験で、現行の車両システムでは、狭隘な道路における走行空間において、一般車両との共存・安全運行が困難であることが確認されたため、付知地区での実装は車両側の技術向上を見極める必要がある。
- 付知地区での経験を生かし、神坂・馬籠地区にて自動運転の実証実験を継続し、LV4の実現を目指す。

事業背景：神坂スマートICから馬籠宿への移動は、高速バスを利用した観光客が多いものの、十分な公共交通が整っておらず観光客にとって必ずしも利用しやすい環境とはいえない状況となっている。

事業の特徴、ポイント：新たに設置される神坂PAロータリー（結節点）から馬籠宿への新しい移動手段を提供し、高速バスと連動した地域内二次交通の選択肢増加による観光回遊性の向上および観光地としての魅力向上が図られる。



■ 車両概要



車両名	EVO
車両メーカー	Navya Mobility SAS
自動運転システム 開発事業者	マクニカ
乗車定員	10名 (乗客9名、オペレーター1名)
最高速度*1	18km/h
台数	1台

*1：自動運転時の最高速度

2. 令和7年度 実証運行の結果

3) 自動運転 実証概要

令和7年度自動運転実証実験の概要について

Let's Take the Self-Driving Bus to Magome-juku 自動運転バスに乗って 馬籠宿まで行ってみませんか？

実施期間 11月24日(月・振休) ~ 11月30日(日)

運行便数 往復9便/日(時刻表は以下参照) **運賃** 無料

神坂小中学校前行き				馬籠宿行き			
出発		馬籠館		出発		神坂小中学校前	
到着		神坂小中学校前		到着		馬籠館	
出発時刻		到着時刻		出発時刻		到着時刻	
①	9:00	→	9:15	①	9:20	→	9:35
②	9:40	→	9:55	②	10:00	→	10:15
③	10:20	→	10:35	③	10:40	→	10:55
④	11:00	→	11:15	④	11:24	→	11:39
⑤	12:34	→	12:49	⑤	12:54	→	13:09
⑥	13:14	→	13:29	⑥	13:34	→	13:49
⑦	14:30	→	14:45	⑦	14:50	→	15:05
⑧	15:10	→	15:25	⑧	15:30	→	15:45
⑨	15:55	→	16:10	⑨	16:30	→	16:45

※11月24日は試乗会、出発セレモニーのため、上り
⑥12:34より一般運行

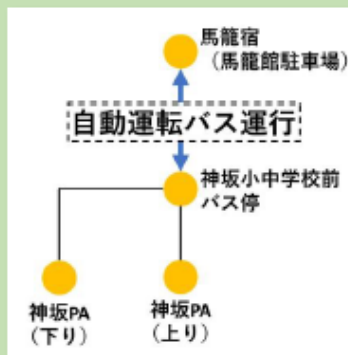


Navya
Mobility社製
「EVO3」

乗車定員

合計10名(乗客9名、オペレーター1名)

運行ルート



ご利用の流れ

[11月10日(月)から予約受付開始]

①予約

専用の予約ウェブサイトよりご予約ください。
乗車定員は9名、予約は先着順です。



二次元バーコードを読み取り、表示され
たリンクアドレスをタップしてください。
予約ページが開きます。

予約受付は各便出発の15分前まで
<https://www.magomebin.jp/>

②車両待ち

時刻表に沿ってバスが運行します。
乗車予約した場所でお待ちください。
※バス停にいない場合、待たずに出発します。

③乗車

ご予約名を確認します。

④降車

ご利用ありがとうございました。

•予約はWEBのみ。付知地区で開発
した予約システムを活用



中津川市仕様
にラッピング
された自動運
転車両(EVO3)



出発セレモニーで祝辞を
述べる古屋衆議院議員

<目次>

議事

1. 社会実験のふりかえり

1) 実証概要 . . . P.3

2) これまでの取組 . . . P.5~8

2. 令和7年度 実証運行の結果

1) 付知駆けつけバス 実証概要 . . . P.10~11

2) 付知駆けつけバス 実証結果 . . . P.13~18

3) 自動運転 実証概要 . . . P.20~21

4) 自動運転 実証結果 . . . **P.23**

報告

1. 令和8年度事業計画（案）について

1) 付知駆けつけバス . . . P.25~28

2) 自動運転 . . . P.30

3) まとめ . . . P.32

2. 令和7年度 実証運行の結果 4) 自動運転 実証結果

令和7年度自動運転実証実験の結果

- 11月24日（月・振休）～11月30日（日）の期間での実験を計画していましたが、自動運転バスモーター内部の温度センサー故障により11月27日より終日運休となりました。復旧作業を行ったものの再開の見込みが立たず中止としました。（後日、一般乗車なしのリカバリー走行を実施し、必要なデータは取得済み）
- 11月24日から11月26日の実証実験では、25便走行、168人にご乗車いただきました。

実証実験に合わせて、神坂PAで高速バス乗降調査を行いました。

- 調査期間 11月24日（月・振休）～11月30日（日）の7日間
- 調査対象 8:35～16:19の間に神坂PAを発着する高速バス 上り下り各12便
- 調査結果 上りP A 降車 116人（日平均 16.6人） 乗車17人
下りP A 降車 19人（日平均 1.6人） 乗車17人



走行中の様子
（神坂小中学校前バス停付近）



車内の様子
（オペレータ乗車位置付近）



実証実験に先立ち神坂小学校で
実施した出前授業の様子
（交通の現状と新しい技術「自動運転」）

<目次>

議事	1. 社会実験のふりかえり
	1) 実証概要 . . . P.3
	2) これまでの取組 . . . P.5~8
	2. 令和7年度 実証運行の結果
	1) 付知駆けつけバス 実証概要 . . . P.10~11
	2) 付知駆けつけバス 実証結果 . . . P.13~18
	3) 自動運転 実証概要 . . . P.20~21
	4) 自動運転 実証結果 . . . P.23
報告	1. 令和8年度事業計画（案）について
	1) 付知駆けつけバス . . . P.25~28
	2) 自動運転 . . . P.30
	3) まとめ . . . P.32

令和8年4月からの運行方法

デマンド式の課題に対応しつつメリットを生かす運行方法に改善する

第1便（行き便）を定時定路線式で運行し、予約の手間・待ち時間の不安を減らす

第2便（帰り便）をデマンド式で運行し、帰りは目的地（自宅付近等）へ直行する

▶ 想定される利用方法の例（病院への通院）

- ・自宅最寄りのバス停から乗車（予約もいらず、時間通りにバスが来るので安心）
- ・病院前バス停で下車 運転手に帰りは◇◇時に迎えに来てほしいことを告げる
- ・バスが来たら乗車。（帰りは目的地のみを走行するため、定時定路線式よりも早く帰宅できる）
※帰りの時間がわからないときなど、状況に応じて、帰り便は電話又はWEBで予約することも可能

1. 令和8年度事業計画（案）について 1) 付知駆けつけバス 付知 bin

令和8年4月からの運行方法

付知地区コミュニティバス

2026年4月1日改正

時刻表

北巡回線（運行日、火・木）

バス停	1便(行き便)
1 付知B&G海洋センター	9:00
2 大起口	9:08
3 権四種	9:09
4 上大起	9:10
5 攻橋	9:13
6 付知不動公園口	9:18
7 下浦	9:19
8 下浦集会所	9:21
9 宮の上集会所	9:23
10 宮の上	9:24
11 向山	9:27
12 広島野住宅	9:28
13 みお医院	9:30
14 付知峽倉屋温泉	9:33
15 倉屋	9:34
16 宗教寺	9:35
17 下大門	9:36
18 大山神社	9:37
19 付知北小学校	9:37
20 山本集会所	9:38
21 藤山	9:39
22 中屋	9:40

デマンド式

10:40~12:00 の間で
ご希望の時間に
ご希望のバス停へお迎えに行き
ます。
乗車後は、ご希望の目的地へ
直行します！

予約方法

- ・1便(行き便)乗車時に運転手に申し出る
- ・電話で予約する
(当日11:30まで)
- ・WEBアプリで予約する
(当日11:30まで)

※乗合バスのため、予約したお
迎えの時間に遅れる場合があ
ります。予めご了承ください。

■フリー区間
ご希望の町内目的地バス停へ直行します。
運転手に申し出てください。

1 付知B&G海洋センター	10:00頃着
---------------	---------

2便(帰り便)の予約方法(電話又WEB)

WEBアプリから

電話窓口から



TEL. 0573-82-2005

受付窓口/NPO法人つけちスポーツクラブ

当日予約/11:30まで

開設時間/8:30~17:00まで

下記の内容をお伝えください

「付知駆けつけバスの予約をお願いします」

- ①予約日
- ②予約時間(お迎え時間 10:40~12:00の間)
- ③乗車人数 ④乗車バス停 ⑤降車バス停
- ⑥お名前 ⑦電話番号

https://www.tsukechi-bin.jp

二次元バーコードを読み取り、表示されたリンクアドレスをタップしてください。
予約ページが開きます。

付知地区コミュニティバス

時刻表

南巡回線（運行日、水・金）

バス停	1便(行き便)
1 付知B&G海洋センター	9:00
23 葉子上	9:02
24 プレカット	9:03
25 竹内医院	9:05
26 付知公民館	9:06
27 尾ヶ平	9:07
28 広野	9:08
29 9区集会所	9:09
30 子安神社	9:10
31 さのや	9:12
32 安楽満	9:14
33 付知のぞみ幼稚園	9:15
34 松原	9:16
35 島屋脇	9:17
36 中野	9:18
44 Vドラッグ付知店	9:20
37 黒川谷	9:22
38 稲荷平集会所	9:26
39 野尻	9:31
40 若宮集会所	9:32
41 中田集会所	9:33
42 中広屋	9:34
31 さのや	9:36
43 回生堂医院	9:37

デマンド式

10:40~12:00 の間で
ご希望の時間に
ご希望のバス停へ お迎えに行
きます。
乗車後は、ご希望の目的地へ
直行します！

予約方法

- ・1便(行き便)乗車時に運転手に申し出る
- ・電話で予約する
(当日11:30まで)
- ・WEBアプリで予約する
(当日11:30まで)

※乗合バスのため、予約したお
迎えの時間に遅れる場合があ
ります。予めご了承ください。

■フリー区間
ご希望の町内目的地バス停へ直行します。
運転手に申し出てください。

1 付知B&G海洋センター	10:00頃着
---------------	---------

2便(帰り便)の予約方法(電話又WEB)

WEBアプリから

電話窓口から



TEL. 0573-82-2005

受付窓口/NPO法人つけちスポーツクラブ

当日予約/11:30まで

開設時間/8:30~17:00まで

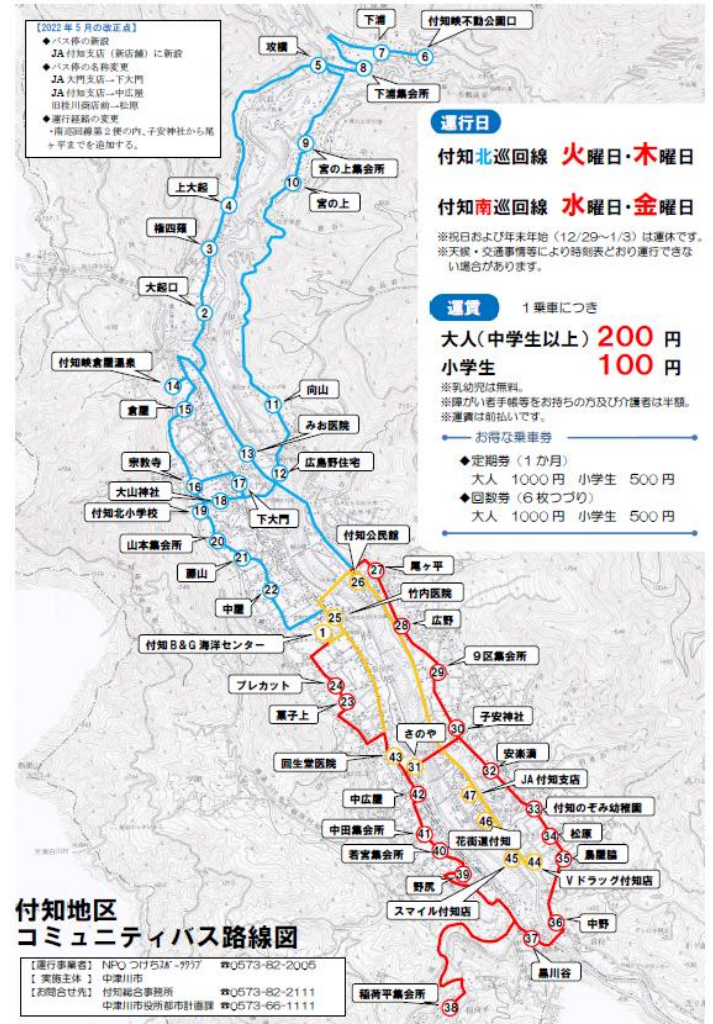
下記の内容をお伝えください

「付知駆けつけバスの予約をお願いします」

- ①予約日
- ②予約時間(お迎え時間 10:40~12:00の間)
- ③乗車人数 ④乗車バス停 ⑤降車バス停
- ⑥お名前 ⑦電話番号

https://www.tsukechi-bin.jp

二次元バーコードを読み取り、表示されたリンクアドレスをタップしてください。
予約ページが開きます。

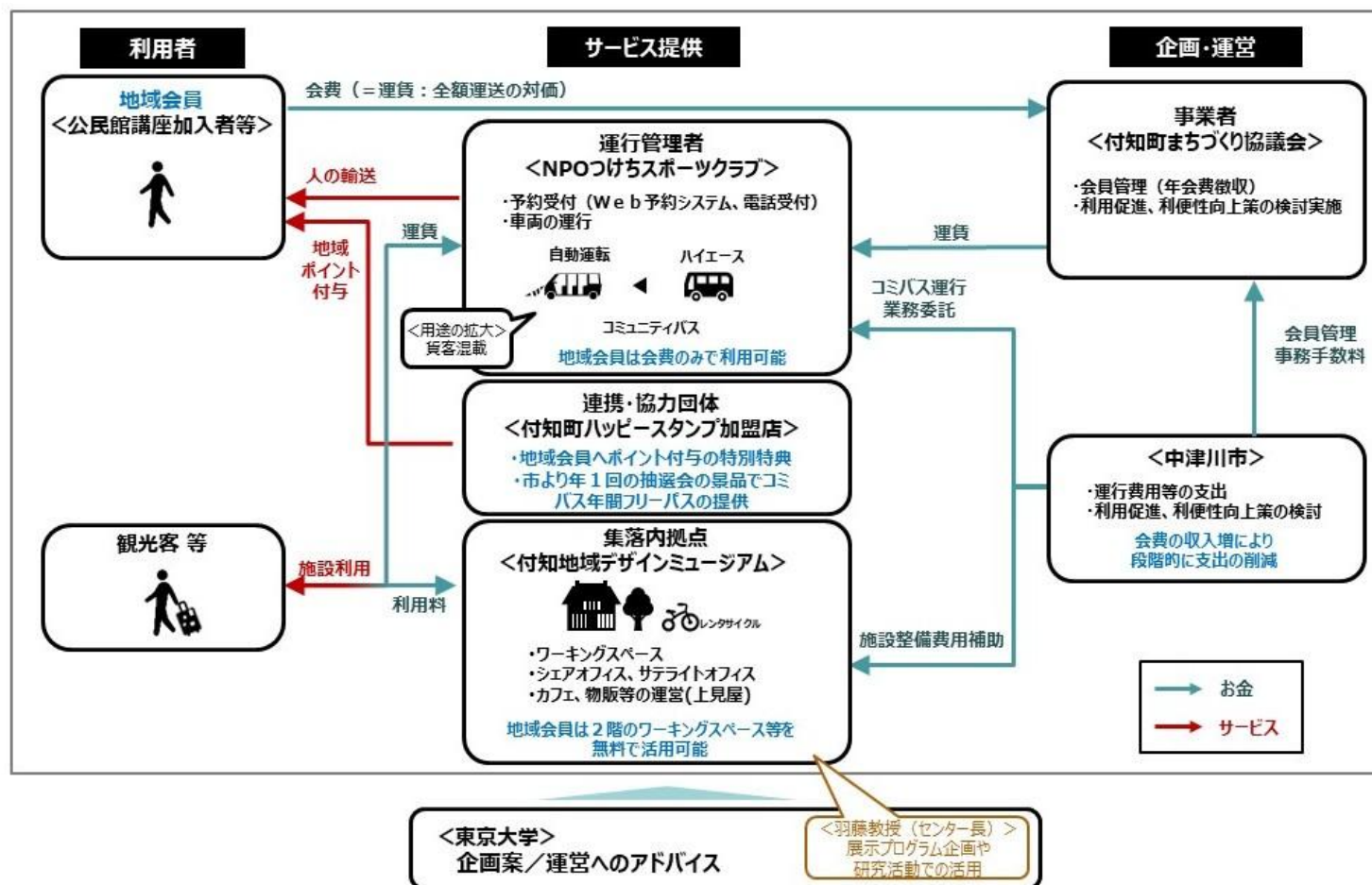


1. 令和8年度事業計画（案）について 1) 付知駆けつけバス 付知 bin Tsukechi Bin

集落内拠点を活用した運営方法

利便性の向上だけでは「自家用車で移動する」からの転換は難しい

- ・会員制の導入により、コミュニティバス乗り放題、地元商店でのポイント付与などの特典を付ける
- ・会員の集落内拠点利用にも特典を付け、コミバスの利用促進と同時に地域の活性化につなげる



年会費（会員）の設定

本人会員：10,000円（通常月定期1,000円×12ヶ月＝12,000円）

- ・本人のみ会員サービスの利用
- ・会員には会員証を発行
- ・コミュニティバス利用者（非会員）は現行料金の取扱い

会員サービス

- 付知町ハッピースタンプ会加盟店舗にて買物等のご利用で、ポイント2倍付与
- 付知町ハッピースタンプ会の抽選会景品として、市よりコミバス年間フリーパスの提供
- デザインミュージアム2階部分の宿泊利用で割引特典
- // 2階部分のワーキングスペースの利用
- 年会費のみでコミュニティバスの通年利用

<目次>

議事	1. 社会実験のふりかえり
	1) 実証概要 . . . P.3
	2) これまでの取組 . . . P.5~8
	2. 令和7年度 実証運行の結果
	1) 付知駆けつけバス 実証概要 . . . P.10~11
	2) 付知駆けつけバス 実証結果 . . . P.13~18
	3) 自動運転 実証概要 . . . P.20~21
	4) 自動運転 実証結果 . . . P.23
報告	1. 令和8年度事業計画（案）について
	1) 付知駆けつけバス . . . P.25~28
	2) 自動運転 . . . P.30
	3) まとめ . . . P.32

1. 令和8年度事業計画（案）について 2) 自動運転

自動運転実証実験の次年度以降の計画

次年度以降の計画

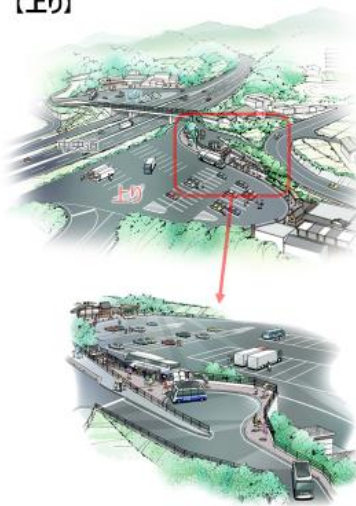
- NEXCO中日本が神坂PA内にロータリーを整備中です（年度内完成予定）。令和8年度は、このロータリーを交通結節点として活用し、神坂PAと馬籠宿を直接つなぐルートで自動運転バスの実証実験（レベル2）を行う。
- 令和9年度以降のレベル4運行を目指して取り組む。



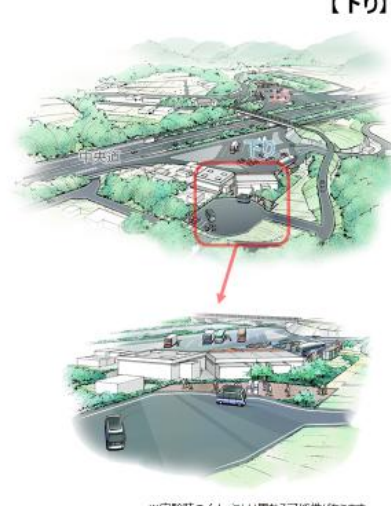
走行ルート R7・・・赤
R8・・・赤+青

中央自動車道神坂PA(結節点)整備イメージ（案）

【上り】



【下り】



※実験時のイメージとは異なる可能性があります。

<目次>

議事	1. 社会実験のふりかえり
	1) 実証概要 . . . P.3
	2) これまでの取組 . . . P.5~8
	2. 令和7年度 実証運行の結果
	1) 付知駆けつけバス 実証概要 . . . P.10~11
	2) 付知駆けつけバス 実証結果 . . . P.13~18
	3) 自動運転 実証概要 . . . P.20~21
	4) 自動運転 実証結果 . . . P.23
報告	1. 令和8年度事業計画（案）について
	1) 付知駆けつけバス . . . P.25~28
	2) 自動運転 . . . P.30
	3) まとめ . . . P.32

1. 令和8年度事業計画（案）について 3）まとめ

報告 1. 1) 実証概要で掲げた3つの課題で整理

① 自動運転技術の導入・運営

- 現行の車両システムでは、**狭隘な道路における走行空間**において、一般車両との共存・安全運行が困難であることが確認された。
- 一方で自動運転バス利用者のアンケート結果からは、将来の利用意向が6割を超え、そのうち半数の方が安全性を感じており、社会受容性は高いことが判明した。
- **三次交通である付知地区の実装は車両側の技術向上を見極める**必要があるが、この経験が無駄にしないためにも、二次交通として**神坂・馬籠地区での実験を継続し、LV4の実現を目指す**。

② 自動運転予約アプリの開発

- 自動運転バス、付知駆けつけバスともに予約アプリを提供して実証実験を行った。
- コミュニティバスの利用者の中心である高齢者にとっては、予約すること自体がハードルであり、中々使用されないが、習慣化に向けて**アプリ講習会等を行い予約アプリの活用**を促す。

③ 拠点の創出・運営

- 集落内拠点としてカフェ・物販等の機能を持つ「付知地域デザインミュージアム」を開設。住民のみならず観光客にも交流の場、居場所となった。
- 拠点の利用と交通サービスをセットにした運営方法の確立に向け地元関係者と協議を行い、次年度から、**会員制（年会費）を導入**し、会員にはコミュニティバスが乗り放題になるとともに、買い物ポイントなどの付加価値を付けて利用促進を図ると同時に地域活性化につなげる。